

会議録

会議の名称	平成27年度 第4回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成27年11月9日（月曜日） 午後7時から午後9時15分まで
開催場所	イングビル3階 第4会議室
出席者	委員：赤澤委員長、有賀副委員長、岸上委員、郷地委員、中平委員、西田委員、藤江委員、山本委員（欠席：近辻委員、安井委員） 事務局：田中文化振興課長、林文化振興係長、工藤文化振興係主査
議題	議題1 平成27年度第3回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録（案）について 議題2 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について 議題3 平成27年度施策・事業評価（平成26年度分）評価結果（案）について 議題4 その他
会議資料の名称	資料1 平成27年度第3回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録 資料2 合築複合化に関する推進委員会委員の主な意見について 資料3 計画中期の取組実施報告について 別紙1～3 西東京市「対話による美術鑑賞」事業に関するアンケート集計結果（栄小、保谷小、保谷二小） 資料4 平成27年度施策・事業評価（平成26年度分）評価結果（案） 資料5 平成27年度施策・事業評価主要施策に対する評価コメント <参考資料> 参考資料1 第15回西東京市民まつり（チラシ） 参考資料2 2015年秋・冬文化財イベント（チラシ） 参考資料3 2015東京文化財ウィーク 西東京市の一年 写真で見る『ふるさと歳時記』（チラシ） 参考資料4 西東京市民映画祭2015第14回自主制作映画コンペティション（チラシ）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>（開会）</p> <p>委員長が定足数と出席している委員を確認</p> <p>（配付資料について）</p> <p>○事務局：</p> <p>参考資料として、2015年秋・冬文化財イベントのチラシ及び下野谷遺跡PR用クリアファイルを配付。昨年度、下野谷遺跡が国史跡指定されたこともあり、12月13日（日曜日）に保谷こもれびホールで、社会教育課主催のシンポジウムを開催。推進委員からも、下野谷遺跡は市全体で盛り上げるべきという声もあるので、是非会場に足を運んでいただきたい。</p> <p>西東京市民映画祭2015第14回自主制作映画コンペティションでは、平成26年度に多摩六都フェア事業で市が主催し、市民が自主制作した映画「あの惑星（ほし）の名は」を</p>	

特別上映していただくことになった。自主制作映画コンペティションには、3年連続足を運んでいるが、毎回とても楽しませてもらっている。こちらも、是非足を運んでいただきたい。

議題1 平成27年度第3回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録（案）について

- ・修正箇所を事務局より説明の上、委員各位より承認された。

議題2 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について

- ・事務局から資料3、別紙1～3に基づき説明

【実施プログラム2「対話による美術鑑賞」事業の推進】

○事務局：

- ・1期生フォローアップ研修は2回、2期生研修は7回実施しており、1期生は小学校での活動が中心。自主練習は別途実施している。
- ・2期生は10月2日保谷小学校からデビューし、1期生をととてもよくサポートしており、順調に成長している。
- ・小学校は5校で実施しており、10月8日には保谷小学校の4年生児童を対象に、練馬区立美術館で訪問授業を行った。
- ・企画展の作品が印象派のシスレーということで、子どもたちには難しいと思ったが、みーるさんの問いかけの工夫や、画面上の色をカラーチップを使用して見つける活動により、子どもたちの発言を上手く引き出すことに成功していた。
- ・終了後の子どもたちの感想も、「昔、美術館に行ったときはつまらなかったけど、今回はおもしろかった」「いろんな色を点で描写していて、シスレーの特徴がよく分かった」「カードで見るより、実際の方がきれいだった」「シスレーさんみたいになりたい」など、美術館訪問の効果が現れていた。
- ・体験会参加者のアンケート結果は概ね好評であり、学校の先生のアンケート結果もとても高い評価結果となっている。アンケート結果については、アートみーるの皆さんに情報提供して、アートみーる活動の参考にしていただいている。
- ・先生からは、事前打ち合わせの時間の長さについての指摘があるが、ある程度時間をかけた方が当日の授業がスムーズにいくということもある。前回の打ち合わせでは、機器の設置及び動作確認等の時間を20分程短縮するなど、ARDA及びアートみーるの皆さんに時間短縮の努力をしていただいている。

○委員：

- ・保谷小学校では、1回目学校で授業を行い、2回目に美術館訪問授業を実施した。普段発言しない子どもたちも、発言することを改めて実感した。開館中の美術館に子どもたちを連れていくということで、他のお客様の迷惑にならないか心配していたが、担任の事前指導もあり、子どもたちは大変マナー良く鑑賞できた。本物が持つ力により、子どもたちが受けるもの、感じるものが違うようで、とても楽しんで見ていた。最初は、みーるさんが選んだ作品について各グループで鑑賞し、その後、自分が気に入った作品を一人で鑑賞する時間もあり良かった。人気の絵には、25人もの子どもたちが集まっていた。一般の客もとても温かい目で見守っていて、子どもたちも感じたことをおしゃべりし、友だちの話を聞いたりしながら、とても楽しい時間を過ごしていた。

【実施プログラム3多摩六都フェア事業の推進】

○委員：

- ・自主制作映画コンペティションは、年々レベルが高くなっている。応募95作品を8月から9月にかけて谷戸公民館で選考し、12作品に絞った。全国約600作品が参加して、8位に入った高校生の作品も予選を通過している。今年から審査委員長に、「山桜」や「小河の辺」などで知られる篠原監督を迎えた。ミラノ座に負けない画面で上映することにより、若い監督の喜ぶ姿を見られることがいいと思う。「あの惑星（ほし）の名は」は、今回コンペティションへの参加は見送りということになったが、まだまだ上映すべきだと思う。

○委員：

- ・今年度行っている映像制作ワークショップの進捗状況は、どのような感じか。

○事務局：

- ・5つのグループに分かれて、1グループ4～5人でどのようなドキュメンタリー映像を撮るのかを検討している。何に着目するのか、映像制作における想定台本の構築の方法などの講義も行っている。受講生が、11月中下旬から12月にかけて取材をし、1～2月に編集をし、3月に作品を発表する予定である。

○委員：

- ・途中の経過報告を市ホームページでアップすればいいと思う。

○委員：

- ・私もワークショップに参加しており、若い人と楽しく取り組んでいる。輪をまとめるような参加の仕方ではあるが、西東京市（自分のグループ）が一番いい作品をつくりたいと思っている。

【実施プログラム4文化ボランティアの育成】

○事務局：

- ・会場係ボランティアの活動を3回実施。10月29日のミュージカル「クリスマスキャロル」公開リハーサルは、川島なお美さんの降板決定後の最初の公開リハーサルということもあり、多くのマスコミが入り、保谷こもれびホール初の記者会見を行った。

【実施プログラム5文化芸術情報収集・発信の仕組みづくり】

○事務局

- ・主な広報活動としては、10月、11月は、市民文化祭、市民まつりの開催について、市ホームページや市フェイスブックでPRを行った。

【その他1（文化芸術振興イベントの充実）】

（市民文化祭）

○事務局：

- ・オープニングイベントの特別企画として、プロの能楽師が地頭を務める本格的な能の舞台「田村」装束付舞囃子を実施。また、オープニングイベントに先立ち、市民

文化祭で使用するポスターと総合プログラム表紙等用絵画・写真等応募作品の最優秀賞、優秀賞の表彰式を実施。

○委員：

- ・今回初めて作品を公募し、文華女子高校の生徒の作品など、文化祭にふさわしい絵が集まった。
- ・4、5年前から演劇が参加。今年の銀河ラボの内容はとても充実しており、客も多かった。演劇は、音楽や踊りもあり総合芸術である。
- ・大学生、高校生、中学生、小学生の参加が増え、武蔵野大学の能の参加や、保谷高校在學生とOB、ひばりが丘中学校、碧山小学校の吹奏楽の参加があった。
- ・子どもの作品の展示もあった。絵については、先程「対話による美術鑑賞」の話もあったが、学校では、詩を聞いて絵にすることなども行っていると聞いている。

○委員：

- ・市民文化祭は、段々規模が大きくなっており、オープニングイベントはレベルが高いと思う。今回は、プロの参加もありとても良かった。

(市民まつり)

○事務局：

- ・市内最大のイベントであるので、是非足を運んでいただきたい。

【その他2（関係機関等との連携及び協働）】

○事務局：

- ・文化芸術振興計画に基づく施策を推進するための事業の一つとして、保谷こもれびホールが小学校への音楽アウトリーチ事業を実施。

○委員：

- ・今年度は小学校6校で実施し、3年間で全校実施予定。先日、東伏見小学校の音楽室で6年生2クラス72人を対象に実施。フルートの演奏がメインで、伴奏にギタリスト、フルートのカルテットもあり、総勢6人が演奏した。小学生がリコーダーに馴染みがあるということで、フルートを選択。演奏と楽器のお話もあり、とても好評であった。

議題3 平成27年度施策・事業評価（平成26年度分）評価結果（案）について

事務局から資料4、資料5に基づき説明

○事務局：

- ・平成27年度施策・事業評価の推進委員会評価コメント事務局取りまとめ案については、前回9月28日開催の第3回推進委員会にて資料として配付し、内容をご確認いただいているところであるが、今回最終的に内容を決定したい。
- ・資料5は、資料4の推進委員会及び市内検討委員会の評価コメントを抜粋し、さらに18の施策のうち主要な施策に対する評価コメントをまとめたものである。
- ・「対話による美術鑑賞」事業についての評価はとても高く、ボランティアの充実及び小学校での定着を求める声が多い。育成したボランティアの活動機会を多く設けているこ

とも評価されている。また、ボランティアの自主的運営を求める声もあった。

○委員：

- ・推進委員会と庁内検討委員会の評価コメントに違いはあるのか。
- ・予算に反映されない議論はあまり意味がないと感じる。

○委員：

- ・毎回同じ実績報告が出てくるようだと、不毛な議論に思えてしまう。
- ・定性的ではなく定量的な表現を入れた実績報告が必要である。

○事務局：

- ・施策・事業評価の評価結果については、次年度の予算編成時期に関係各課へフィードバックしており、推進委員会と庁内検討委員会の評価コメントについての違いはなく、関係各課においては両方の評価コメントを問題提起として捉え、次年度以降の事業を推進する上での参考としていただいている。
- ・文化芸術の取組は、数値目標を入れるのが難しいということもあるが、可能な取組については、数値目標を入れていきたいと思っている。
- ・評価コメントを受けて、実際どのようなアクションが起こったかを目に見える形にしていきたい。まずは、文化振興課の取組で行うことができればと考えている。

○委員：

- ・この会の意義を見出すために、また、推進委員のモチベーションを保つために、ここでの議論が実のあるものにする必要がある。

○委員：

- ・参考にしていただけるというのはうれしい。是非、市民の喜怒哀楽を受け取ってほしい。

○委員：

- ・数量化は中々大変である。定量を何人とし、減った場合はどのように対策するのか、また、どの部分を数量化するのかなど。
- ・文化財の計画でも、具体論ではなく方法論を検討している。文化財ではストーリーだったらイメージがわくが、市の施策として予算に反映させるのはなかなか難しい。
- ・例えば、下水道を引くということだと数字も出しやすいし議論も進むが、文化だとなかなか難しいので、数量化をするためには知恵を絞らなければならないと思う。

○委員：

- ・数量化については、1プラス1が2ということではなく、できるだけ分かりやすく示す必要がある。

○事務局：

- ・他に意見がなければ、推進委員会評価コメントについては、この内容で決定したい。

議題4 その他

(合築複合化について)

○委員：

- ・先日の合築複合化の懇談会で、要望書の説明をした。懇談会自体は、図書館、公民館の既得権益の関係もあり、活発な意見が出ている。

○委員：

- ・懇談会の委員は12人いて、6つの分野や団体から選出されているので、どちらかの方向にまとまるという感じではない。公民館、図書館がなくなって、どうなるのかという議論が中心である。

○委員：

- ・当初、12月から1月にまとめるということだったが、年度内ということになった。

○委員：

- ・懇談会には決定権がないので、意見を集約するという性質はないと思う。

○委員：

- ・意見を言い合える場があるということは、とてもいい制度だと思う。何かを決めなくてはならないというような場ではなくても、意義があると思う。

○委員：

- ・縛りがなければ言いやすいということもあるが、市の方向性が決まっている場合は、何を言っても意味がないということもある。

○委員：

- ・考えることを止めたら終わりだと思うので、考え続けていく必要があると思う。今回意見が反映されなくても、今後生きる可能性もあるので。

○委員：

- ・懇談会で合築に反対の意見はあるのか。

○委員：

- ・5～6階に全部詰め込むのは無理という意見などがある。

○委員：

- ・芸団協では、都心のホール閉鎖等に伴い、郊外につくるべきと言っている。マスコミ各社に大きく取り上げられた。

○委員：

- ・ホールの会場不足が深刻化することは、「2016年問題」と言われている。

○事務局：

- ・懇談会では、様々な意見をいただいて、提言としてまとめていただく予定である。肯定、否定の意見を問わず、ヒントになればと思っている。最終的には市の判断ということになるが、市民の声を拾うためにパブリックコメントなども予定している。

○委員：

- ・豊島区は商業施設との複合化を実現している。西東京市も市の予算のみだと規模が小さくなってしまうので、駅の近くに民間と連携して20～30階の建物をつくるべきだと考えているが、推進委員の皆さんのご意見を伺いたい。

○委員：

- ・最近では、川越市、北区でも民間と連携している。

○委員：

- ・駅近くだと再開発との絡みもあると思うが、民間活用、PPPやPFIは将来的には考えるべきである。

○委員：

- ・民間との連携は、有効な選択肢だと思う。

○事務局：

- ・施策・事業評価評価結果については、今後、評価結果の概要を作成し、評価結果報告書としてまとめ、今月中に市長まで報告したいと考えている。
- ・3月には昨年同様、推進委員会に対する勉強会なども実施できればと考えている。12月以降に委員の皆さんに提案できればと思っている。
- ・次回第5回推進委員会については、1月か2月に開催したいと考えている。日程については、後日調整したい。

(閉会)